

バイエルの画像診断支援 AI製品ポートフォリオについて

バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部

はじめに

バイエル薬品は、オンプレミスソリューションとして、胸部領域読影支援AIソフトウェア「Plus.Lung.Nodule(CT)」、「Plus.CXR(X-Ray)」、腹部領域MRI読影支援AIソフトウェア「Cal.Liver.Lesion」、また、クラウドソリューションとして、画像診断支援AIプラットフォームの「Calantic」の販売を行っている。今回はこれらのAIソフトウェア、AIプラットフォームの概要を紹介する(図1)。

胸部CT-AIソフトウェア 「Plus.Lung.Nodule」

バイエル薬品は2022年4月より、独占の販売契約に基づきプラスマン合同会社が製造販売している本製品、Plus.Lung.Nodule(プラスランゲノジュール)の販売を開始した。本製品は2019年5月に薬機法の製造販売認証を取得し、今日までに複数の施設で導入・活用されている。

1. Plus.Lung.Noduleの特徴

本製品は肺臓関心領域表示機能を有するプログラム医療機器である。本製品の

3つの特徴を以下に挙げる。

①Region of Interest (ROI)表示機能

- ・肺野内2~30mmの円形や紡錘形、および辺縁不整なCT値上昇領域が対象
- ・すりガラス様結節、間質性肺炎等の背景修飾、手術後の切離部分にも利用可能
- ・非造影/造影CTに関わらず、リンパ節の視認性向上をはかるためのROIを表示

②自動計測機能

- ・ROI内の対象を3次元楕円体近似した際の主軸3軸の長さや、体積などを自動で計測

③オートトラッキング

- ・過去と現在の同じROIを自動で紐づけ、

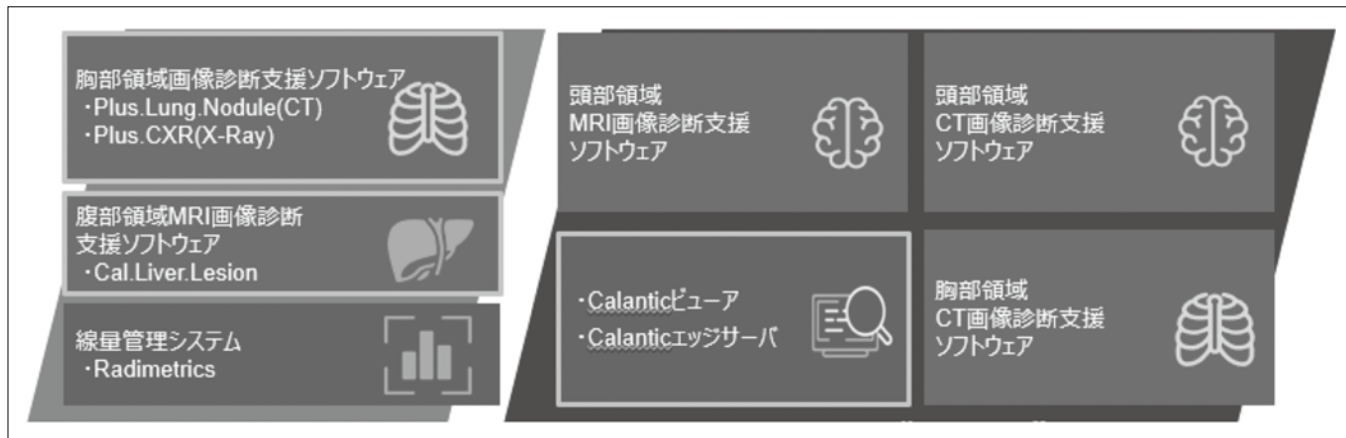


図1 弊社デジタルソリューション製品のポートフォリオ(上記のうち縁取り強調した製品は読影支援AIソフトウェア)